

コミュニケーション学 英会話

講 師	星 野 夢 子	実施時期 単 位 数	第 2 学年前・後期 1 単位 （ 2 0 時間）	実務経験	—
一般目標（GIO）	歯科英語で学んだ基礎を生かし、文章を組み立て、話す能力を身につけさせる。				
授 業 概 要	習得した単語・構文を用い、相手との意思疎通ができるようにする。 例文の会話を十分に理解し、与えられた状況に応じて会話ができるようにする。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	定期試験65%、復習問題、提出物20%、授業態度15%の総合評価				
教 科 書	プリント配付				
履修上の注意	歯科医療での日常的な会話を積極的に暗記・反復し、身につけて欲しい。				
参 考 書	Thomas R. Ward 著 Part 1 「英語で患者と話そう」 Part 2 「英語が話せる歯科衛生士」 Part 4 「英語が話せる歯科衛生士続編」 クインテッセンス出版 その他適宜紹介				

授業計画

No.	授業項目	到達目標（SB0s）
1 ～ 3	与えられた状況での対話文の作成・発表	自分の身の廻りのことから言いたい事を選別し、英語で述べることができる。 相手と協同で対話文を作り、発表できる質疑応答ができる。
4 ～ 8	診療所での英会話の練習 予約の取り方、患者への挨拶、電話での対応、口腔衛生指導、子どもの歯の手入れに関する親への指導	実際の立場を想定し、必要に応じた英語を使用し、説明及び会話ができる。 基本的な電話での対応ができる。 適語を使用し的確な説明、指導ができる。
9 10	定期試験に対しての総合復習及び練習問題	今まで学んだことで、得意な箇所を暗記して発表できる。 今まで学んだことを応用して、二人で対話文を作成し、発表できる。 会話文に対して、質疑応答ができる。